

帰国研修員便り

【研修の思い出と感謝レター】



ビカシュさん(インド帰国研修員)から近況報告が届きました。

- 1) コースリーダー： 矢頭 昭治
- 2) 現地活動報告： Mr. RAI Bikash
(インド帰国研修員)

2017年2月15日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

JICA/KITA 技術研修に参加したビカシュさん（インド帰国研修員）から研修お礼の便りが届きました

今回ご紹介する帰国研修員便りは、平成 28 年度：研修コース：「青年研修インド／再生可能エネルギー」に参加されたビカシュさんの研修の思い出と感謝文です。技術研修コースを担当された矢頭コースリーダーよりビカシュさんの研修活動についてご紹介して頂きました。

1. 今回レポートした帰国研修員の紹介

名前 (通称)	写真	氏名	国名	受入れ研修期間
ビカシュ さん		Mr. RAI Bikash	インド	2016/ 11/27～ 2016/12/14



【研修コース閉講式の記念写真】



インドから派遣された研修員（13名）の皆さんは、北九州市（JICA九州）に集まり「再生可能エネルギー」コースを勉強しました。

2. 研修コース期間中の記念写真



北九州エコハウスで、矢頭コースリーダーと研修員の皆さん



2. 矢頭 コースリーダーからメッセージ



日本政府の政府開発援助(ODA)の一部として実施されている JICA 研修は学ぶ側に対して知識・技術を指導教育するという考え方から、2015 年 12 月から共に創り出しに行く (Knowledge Co-Creation Program) と云うように見直されました。2016 年に実施された本研修「青年研修インド/再生可能エネルギー」コースもこの趣旨に沿って実施されました。研修参加者は国政を担う若手の人材でインド各地から日本の再生可能エネルギーに関する基礎的な内容を理解し修得する為に来日した政府及び公共企業の若手担当官です。

インドの経済成長は好調に推移しており今後の経済発展に伴い、電力、道路、鉄道、通信、港湾等のインフラ整備が益々必要になるとされています。現在のエネルギー消費量は中国、アメリカ、ロシアに次いで世界第4位です。エネルギー資源としては、豊富な埋蔵量を有する石炭と天然ガスが国内資源として利用されて来ましたが、しかし、近年は国内生産が需要に追いつかず、慢性的な電力不足に陥っています。石油も急速な内需の伸びに対して国内生産が追いつかず、輸入依存度が高くなっています。この増大するエネルギー需要を賄うだけの十分なエネルギー資源が賦存しないためインド政府は、石油や天然ガスの国内探査や生産プロジェクトに加え、天然ガスや石炭の輸入増大を図る一方、発電では、大規模な石炭火力の建設に加えて、地球温暖化防止政策を考慮しながら、水力、原子力開発、再生可能エネルギー開発・利用促進も推進する方針であります。

本コースは、このような背景に鑑みてインドでの再生可能エネルギー導入促進の一助になることを期待して日本での現状を紹介しました。Mr. Bikash Rai はシッキム州（インド北部）エネルギー・

電力部に勤務して、小規模の風力・太陽光ハイブリッドプロジェクトとメンテナンスや送電線の運転管理や大規模風力・太陽光ハイブリッドプロジェクトの立案、準備等に従事しているアシスタントエンジニアです。今回の研修が Mr. Bikash Rai の期待に沿う内容であった事は、企画立案を担当するコースリーダーにとって大変喜ばしいことです。

世界規模での環境破壊を抑制して低炭素化社会の実現を推進する為の再生可能エネルギーの導入は重要な課題で有ります。これから益々発展して行くインドで再生可能エネルギーを導入又は改善できる有望な研修員に「再生可能エネルギー」コースを学んで貰ったことは非常に意義深いことであります。是非とも、再生可能エネルギーの導入推進に努力して効果を出すことを期待しています。

3. ビカシュさんからの便り



我々は無事帰国しました。

本当に素晴らしい時間を過ごし、得られた知識は確実に我々を良い方向に導くことでしょう。

シッキム州の地方新聞に掲載された記事を添付しています。目を通していただくと幸いです。

矢頭さん、近況報告と写真も一緒に添付しています。

ありがとうございました。

【新聞掲載タイトル】

シッキム州の電力エンジニアが、日本の先進再生可能エネルギーと、もったいない文化を体験しました



持続的可能な発展と日本での再生可能エネルギー研修について

私は日本の JICA から選ばれた他の 12 人と共に 2016 年 11 月 27 日から 12 月 14 日まで“青年研修インド／再生可能エネルギー”という研修に参加しました。

目標

1. 日本の技術・スキルを学習・体験し、我々の専門能力を高める。
2. 環境問題と再生可能エネルギーの関連分野において、課題を解決するため積極的に取り組む。

研修は全て日本政府の援助の下、日本の南西部に位置する福岡県の北九州市で行われました。北九州市は、スマートコミュニティの開発と水素社会創造事業を通して、CO₂ 排出削減推進活動において世界のリーダーを目指していて、クリーンエネルギー政策においても世界の先駆者の一人です。

北九州市は、その努力でアジアでは初めて経済協力開発機構 (OECD) により“グリーン成長モデル都市”に認定されました。現在はその産業技術と環境保全技術の専門知識を開発途上国に分け与えながらバランスの取れた世界発展の育成を目指しています。

我々は特に、太陽光、風力、小水力、バイオガス、バイオマスなど再生可能エネルギーの振興分野において、日本で導入されているさまざまな技術と政策に触れました。

北九州市が急速な産業発展に伴う深刻な環境公害をどのように克服したのか、下記のような多様な解決策と導入策に関しての情報もいただきました。

- a. 北九州市のエコモデル都市行動計画の進歩
- b. 環境未来都市
- c. 日本のエネルギー政策
- d. 再生可能エネルギーと省エネルギーの展開と振興

日本は、可能な限りあらゆる方法で電気エネルギーを引き出す努力をしていたので、衝撃的でした。水道浄水場には水の流入に沿って小水力発電機が組み込まれています。市や市民が収集したごみなどで作るバイオマス工場やバイオガス工場でも特別なタービンを設置し発電していました。公園や工場でも同様に、太陽光発電や風力発電が設置されています。

私有建物の約 80%が太陽光で発電していて、余った電気は発電所に売っています。固定価格買取制度(FIT)は魅力的な内容で、全ての世帯が発電と販売、その他メリットを目的として、屋根に太陽光発電パネルを設置する動機づけになっています。

すべての海岸地域には風力発電機が大量に設置されていて、もっと効果的な風力発電のために、例えば岸から離れた沖合にまで設置されています。街周辺では、小型の風力タービンと太陽光発電システムが街灯のため使われていて、どこに行っても、自然災害の緊急時にさえも、最適で効果的に電気を使えるようエネルギー管理設備が備わっています。

日本人はもったいないという言葉大切にしています。

これは日本語で、ゴミに関して惜しむ気持ちを表しています。“もったいない”という表現は何か有用なもの、例えば食べ物、時間などが捨てられる時に“これがゴミなの？”または“捨てないで”の声を上げるものとして使われています。

また、政府の政策やビジネスにだけ通用するものではなく、全ての日本人が国づくりに確実に導入し適応しています。そうしながら、3R 活動（リデュース、リユース、リサイクル）の実施と共に天然資源の消費を減らし環境への負担を少なくする努力をしています。

日本では、プラスチック、紙、缶、スチール、一般家庭ごみなどと明記された、それぞれ異なるごみ箱を使用しています。このシステムは、リサイクルごみはリサイクルへ、台所の油ごみはバイオディーゼル燃料として、残った有機ごみはまたバイオガスやバイオマス発電に使われるなど、とてもきれいに整理されています。バイオガス発電からの残留物は有機肥料として有機農場で使われています。

全体的に、技術の専門知識の点以外でも、日本人はとても礼儀正しく、謙虚で、他人の意見を尊重していて、自負心を持っています。どんな分野でも自分が従事する仕事に誇りと名誉を持って常に最善を尽くそうと努力しています。

現在、`メイドインジャパン`の商品を好まない人はいません。前述したように日本は世界の他の国と違うからです。

日本人は時間をものすごく大事にします。彼らはいつもスケジュール通りで、指定されたこと・ルールから逸脱しません。どんなことがあっても計画を守り、全ての面で規則に従います。日本が現在、先進国であるのはこのためです。

“地球温暖化”という世界規模の問題に対し、再生可能エネルギー技術で対策を取る、日本でのこの研修に参加したことは忘れられない経験でした。私の家族、友人、上司、後援者、インド政府とシッキム州政府に、また全てをサポートしてくださった JICA と KITA に感謝いたします。

クリックしてレポートを
ご一読下さい。(英語版)



4. JICA 受入研修期間中の写真集

JICA/KITA研修コースの写真集

(2016年11月～12月)



K I C 玄関口にて



講義終了後の記念撮影



企業訪問：おおき循環センター “くるるん” (福岡県大木町)



企業訪問：響灘風力発電設備 (北九州市若松区)



企業訪問：穴生浄水所 (北九州市八幡西区)



観光：大宰府天満宮 (福岡県太宰府市)

以上